

令和5年度事業報告書

令和5年度は、特定屋外タンク貯蔵所等に係る受託審査の的確かつ効率的な実施を図るとともに、危険物等の保安技術に関する調査研究、危険物・危険物施設に関する情報収集・提供、危険物関連設備等の性能評価等や危険物運搬容器の試験確認業務等の確実な実施に取り組むなど着実な業務運営を目指してまいりました。

その概要については、次のとおりです。

〔本報告書の数値は契約ベースでの数値のため、財務諸表の数値とは異なっています。〕
〔また、実績額の下段括弧書きの数値は、令和5年度予算額を表記しています。〕

1 特定屋外タンク貯蔵所等の受託審査

882基 518,048千円
(508,137千円)

特定屋外タンク貯蔵所等に係る受託審査契約は、予算対比で、基数は3基の増、金額は9,911千円の増となりました。審査区分ごとの内訳は、次表のとおりです。

(単位：基、千円、%)

区 分	令和5年度 契約基数・金額		令和5年度 予算基数・金額		差引増減基数・ 金額(契約-予算)		増減率		
	基数	金額	基数	金額	基数	金額	基数	金額	
	特定屋外タンク	851	507,275	858	500,699	△7	6,576	△0.8	1.3
内	設置審査	16	10,233	19	9,234	△3	999	△15.8	10.8
	変更審査	621	302,575	630	299,001	△9	3,574	△1.4	1.2
訳	保安審査	214	194,467	209	192,464	5	2,003	2.4	1.0
準特定屋外タンク	31	10,773	21	7,438	10	3,335	47.6	44.8	
内	設置審査	11	5,643	8	4,104	3	1,539	37.5	37.5
訳	変更審査	20	5,130	13	3,334	7	1,796	53.8	53.9
計	882	518,048	879	508,137	3	9,911	0.3	2.0	

2 技術援助

152件 92,732千円
(65,950千円)

事業者等の求めに応じて、屋外タンク貯蔵所等の保安対策に係る、次のような専門技術的な課題について支援しました。

- | | | |
|------------------------------------|--|-----|
| (1) 屋外タンク貯蔵所に係るもの | | |
| ① 旧法タンクの安全性調査の評価等に係る技術援助 | | 4件 |
| ② 屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助 | | 11件 |
| ③ タンク開放周期の個別延長に係る技術援助 | | 25件 |
| ④ 損傷を生じない浮き屋根及び浮き蓋に関する安全性評価に係る技術援助 | | 1件 |
| ⑤ 準特定屋外タンクの安全性調査の評価等に係る技術援助 | | 4件 |
| ⑥ 特定屋外貯蔵タンクの水張試験の合理化に係る技術援助 | | 6件 |
| ⑦ 特定屋外貯蔵タンクの浮き屋根の点検に係る技術援助 | | 33件 |
| ⑧ その他危険物貯蔵所等に係る技術援助 | | 40件 |
| (2) 危険物事故事例情報システムに係るもの | | |
| 危険物に係る事故情報の提供に係る技術援助 | | 28件 |

3 性能評価等

276件	71,088千円 (59,514千円)
------	------------------------

消防法令上、明確な判断基準が定められていないもの等について、合理的な保安対策の推進に資するため、火災予防上又は消火活動上有効なものかどうか等の性能評価等業務を実施しました。

- | | |
|-----------------------------|------|
| ① 危険物関連設備等の性能評価 | 150件 |
| ② ガス系消火設備等の評価 | 32件 |
| ③ 大型化学消防車等の省力化の評価 | 23件 |
| ④ 単独荷卸しに係る仕組みの評価 | 39件 |
| ⑤ 変更工事に係る認定事業所の評価 | 6件 |
| ⑥ 地下貯蔵タンク及びタンク室等の構造・設備に係る評価 | 26件 |
| ⑦ 大容量泡放水砲の防災要員の減員の評価 | 0件 |
| ⑧ 危険物施設における危険区域の設定に係る評価 | 0件 |

4 試験確認等

- | | | |
|----------|------|------------------------|
| (1) 試験確認 | 520件 | 80,733千円
(83,406千円) |
|----------|------|------------------------|

危険物等に係る事故の発生を防止するため、危険物の運搬容器や危険物等を取り扱う設備、機器の構造、性能等が所定の技術上の基準に適合するかどうかについて、各種試験を行い確認する業務を実施しました。

- | | |
|-------------------|------|
| ① 危険物運搬容器に係る試験確認 | 240件 |
| ② 少量危険物タンクに係る試験確認 | 28件 |

③ 二重殻タンクに係る試験確認	95件
④ 固定給油設備等に係る試験確認	59件
⑤ 油中ポンプ設備に係る試験確認	3件
⑥ パッケージ型泡消火設備に係る試験確認	7件
⑦ 超音波厚さ計に係る試験確認	3件
⑧ 屋外貯蔵タンクの内部コーティング材料に係る試験確認	6件
⑨ 防油堤目地部の補強材に係る試験確認	3件
⑩ 放電加工機に係る試験確認	71件
⑪ ナトリウム・硫黄電池に係る試験確認	1件
⑫ 過剰注入防止設備に係る試験確認	4件

(2) 危険物データベース登録確認書の交付

628枚 1,005千円
(510千円)

消防庁の危険物データベースに登録されている物品について、同データベースに登録されていることを証する確認書の交付や同データベースに登録した物品に係る一覧表の発行を実施しました。

① 危険物データベース登録確認書の交付	602枚
② 危険物データベース登録物品一覧表の発行	26枚

5 危険物施設等の保安に関する診断

0件 0千円
(2,294千円)

令和5年度は、申請がありませんでした。

6 調査研究

7件 60,315千円
(26,730千円)

受託した調査研究の事業内容は、次のとおりです。

- ① 消火薬剤タンク付き大型化学高所放水車の省力化要件に関する検討
- ② 新技術を活用した屋外貯蔵タンクの効果的な予防保全に関する調査検討業務
- ③ 危険物施設の定期点検等に活用できる新たなデジタル技術に関する調査分析業務
- ④ 屋内貯蔵所における可燃性蒸気滞留状況に関する調査分析業務
- ⑤ 石油コンビナートにおける事故防止及び被害軽減方策に関する調査業務
- ⑥ 消防法の危険物規制に関する諸課題の調査分析業務
- ⑦ 危険物に係る火災及び流出事故の精査業務

このほか、自主研究として、石油コンビナート向け電子版立体構内図をプラットフォームとしたスマート保安に関する調査研究では、日本エヌ・ユー・エス(株)と共同研究で試作したデモ版ソフトウェア(「VR型構内図」及び「電子版消火計画」)の機能及び入力情報の向上を図り、危険物施設等の保安力向上に資するための普及促進活動等を行いました。また、自主研究で培った「VR型構内図」の構想とブラウンリバーズ(株)の「INTEGNANCE VR」サービスを組み合わせ、「DXによる危険物施設等の保全・保安に資するシステム」の開発を共同で進めました。

他に渦電流探傷試験に関する調査研究、リモート検査に関する調査研究を行いました。

7 講習会等の開催

85,483千円
(87,270千円)

令和5年度は、集合研修について計79回開催(受講者総数1,532名)するとともに、出前出張研修について計45回開催(受講者総数924名)しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、一部の講習会等の開催はweb配信またはeラーニングとし、受講確認を行っていない危険物保安技術講習会を除く受講者総数は218名でした。

(1) 保安技術講習

危険物保安技術講習会	web配信	—名
------------	-------	----

(2) 防災管理研修等

① 防災管理者・副防災管理者研修会	集合：28回	506名
	出前：19回	304名
② 危険物基礎研修	eラーニング	80名
③ 危険物施設総合研修訓練	集合：0回	中止

(3) 事故防止セミナー

危険物事故事例セミナー	集合：2回	156名
-------------	-------	------

(4) 保安技術専門講習会

① 屋外タンク実務担当者講習会	集合：2回	132名
	web配信	138名
② コーティング上からのタンク底部板厚測定講習会	集合：5回	103名
③ 屋外貯蔵タンクのコーティング管理技術者講習会	集合：7回	186名

- | | | |
|--------------------------------|--------|------|
| ④ 屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検に関する講習会 | 集合：27回 | 293名 |
| ⑤ 単独荷卸しに係る運行管理者等研修会 | 集合：8回 | 156名 |
| | 出前：25回 | 615名 |
- (5) 保安防災研修
保安・防災対策に関する研修
- | | | |
|--|-------|----|
| | 出前：1回 | 5名 |
|--|-------|----|

8 情報の収集・提供等

(1) 屋外タンク貯蔵所に係る事故の原因調査

令和5年度は、市町村長等から事故原因の詳細調査のための協力要請はありませんでした。

(2) 情報の提供等

危険物等の保安技術に関する情報の提供等として、次のような事業を実施しました。

① 機関誌の発行

技術情報誌「SAFETY & TOMORROW」を隔月に発刊しました。

② ホームページ

ホームページ (<https://www.khk-syoubou.or.jp/>) を通じて協会業務や財務内容等に関する情報の提供に努めました。

③ 危険物事故防止対策論文の募集・表彰

危険物に係る火災・流出等の事故件数が高い水準を示しているなか、事故防止に係る提案、提言等を得ることを目的として募集したところ、6編の応募があり、消防庁長官賞1編、理事長賞1編及び奨励賞1編を選考しました。

9 業務運営の合理化・効率化等

更なる業務運営の合理化・効率化を推進するべく、引き続き審査書類の電子データ化やタンク審査システムのクラウド化による審査業務のモバイル化など、働き方改革にも資する内部管理業務の電子化等を進めました。

10 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

- ・ 令和5年5月29日
評議員の任命について
- ・ 令和5年6月12日
令和4年度事業報告書・財務諸表及び決算報告書(案)について
- ・ 令和5年7月13日
理事長の選任について
役員の報酬について
- ・ 令和6年3月15日
令和6年度事業計画(案)
令和6年度予算(案)
業務方法書の変更について
理事長の選任について
理事の選任について
常勤の理事の指名に係る承認について
監事の選任について
役員の報酬について

(2) 評議員会

- ・ 令和5年6月8日
令和4年度事業報告書・財務諸表及び決算報告書(案)について
- ・ 令和6年3月8日
令和6年度事業計画(案)
令和6年度予算(案)
業務方法書の変更について